

タイトル	彙報・活動・編集後記・規定
著者	
引用	年報新人文学(14)
発行日	2017-12-25

〔彙報〕

平成二十八年度 大学院文学研究科

◆学位論文題目一覽

修士学位論文

●日本文化専攻修士課程

氏名	修士論文題目
井上みのり	マンガに見るジエター表現と日本語教材の可能性

●英米文化専攻修士課程

氏名	修士論文題目
高橋 真弥	ロバート・N・ベラーのアメリカ宗教文化論 ——聖書の伝統を中心にして——
藤川 清則	アイヌ文化の保存伝承と観光 ——阿寒湖アイヌコタンの戦略——

◆ 授業科目及び担当者(旧カリキュラム)

● 英米文化専攻博士(後期)課程

授業科目	担当教員
英米歴史文化特殊研究Ⅰ	柴田 崇教授
英米歴史文化特殊研究Ⅱ	柴田 崇教授
英米歴史文化特殊研究Ⅲ	柴田 崇教授
英米社会文化特殊研究Ⅰ	小松 かおり教授
英米社会文化特殊研究Ⅱ	小松 かおり教授
英米社会文化特殊研究Ⅲ	小松 かおり教授
英米言語文化特殊研究Ⅰ	米坂 スザンヌ教授
英米言語文化特殊研究Ⅱ	米坂 スザンヌ教授
英米言語文化特殊研究Ⅲ	米坂 スザンヌ教授
英米思想文化特殊研究Ⅰ	大森 一輝教授
英米思想文化特殊研究Ⅱ	大森 一輝教授
英米思想文化特殊研究Ⅲ	大森 一輝教授
欧米思想文化特殊研究Ⅰ	安酸 敏眞教授
欧米思想文化特殊研究Ⅱ	安酸 敏眞教授
欧米思想文化特殊研究Ⅲ	安酸 敏眞教授
西洋思想文化特殊研究Ⅰ	川上 武志教授
西洋思想文化特殊研究Ⅱ	川上 武志教授
西洋思想文化特殊研究Ⅲ	川上 武志教授

● 日本文化専攻修士課程

授業科目		担当教員	授業科目		担当教員
日本文学特殊講義Ⅰ		井野 葉子教授	日本語文化特殊講義Ⅲ		徳永 良次教授
日本文学特殊講義演習ⅠA		井野 葉子教授	日本語文化特殊講義演習ⅢA		徳永 良次教授
日本文学特殊講義演習ⅠB		井野 葉子教授	日本語文化特殊講義演習ⅢB		徳永 良次教授
日本文学特殊講義Ⅱ		田中 綾教授	日本歴史文化特殊講義Ⅰ		追塩 千尋教授
日本文学特殊講義演習ⅡA		田中 綾教授	日本歴史文化特殊講義演習ⅠA		追塩 千尋教授
日本文学特殊講義演習ⅡB		田中 綾教授	日本歴史文化特殊講義演習ⅠB		追塩 千尋教授
日本文学特殊講義Ⅲ		中村 三春講師	日本歴史文化特殊講義Ⅱ		船岡 誠教授
比較文学特殊講義Ⅰ		テングトアイル教授	日本歴史文化特殊講義演習ⅡA		船岡 誠教授
比較文学特殊講義演習ⅠA		テングトアイル教授	日本歴史文化特殊講義演習ⅡB		船岡 誠教授
比較文学特殊講義演習ⅠB		テングトアイル教授	日本歴史文化特殊講義Ⅲ		郡司 淳教授
比較文学特殊講義Ⅱ		大谷 通順教授	日本歴史文化特殊講義演習ⅢA		郡司 淳教授
比較文学特殊講義演習ⅡA		大谷 通順教授	日本歴史文化特殊講義演習ⅢB		郡司 淳教授
比較文学特殊講義演習ⅡB		大谷 通順教授	北方文化論特殊講義Ⅰ		中村 英重講師
表象文化論特殊講義		大石 和久教授	アイヌ文化論特殊講義		手塚 薫教授
表象文化論特殊講義演習A		大石 和久教授	アイヌ文化論特殊講義演習A		手塚 薫教授
表象文化論特殊講義演習B		大石 和久教授	アイヌ文化論特殊講義演習B		手塚 薫教授
日本語文化特殊講義Ⅰ		中川 かず子教授	アジア文化論特殊講義Ⅰ		須田 一弘教授
日本語文化特殊講義演習ⅠA		中川 かず子教授	アジア文化論特殊講義演習ⅠA		須田 一弘教授
日本語文化特殊講義演習ⅠB		中川 かず子教授	アジア文化論特殊講義演習ⅠB		須田 一弘教授
日本語文化特殊講義Ⅱ		菅 泰雄教授	アジア文化論特殊講義Ⅱ		李 俊鎬講師

◆ 授業科目及び担当者(新カリキュラム)

● 日本文化専攻博士(後期)課程

授業科目	担当教員
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅠA	テレンゲトアイトル教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅠB	テレンゲトアイトル教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅠC	テレンゲトアイトル教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅡA	中川 かず子教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅡB	中川 かず子教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅡC	中川 かず子教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅢA	船岡 誠教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅢB	船岡 誠教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅢC	船岡 誠教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅣA	徳永 良次教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅣB	徳永 良次教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅣC	徳永 良次教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅤA	大谷 通順教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅤB	大谷 通順教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅤC	大谷 通順教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅥA	菅 泰雄教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅥB	菅 泰雄教授
日本語・思想文化論文指導特殊演習ⅥC	菅 泰雄教授

授業科目	担当教員
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠA	追塩 千尋教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠB	追塩 千尋教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠC	追塩 千尋教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡA	郡司 淳教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡB	郡司 淳教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡC	郡司 淳教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢA	手塚 薫教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢB	手塚 薫教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢC	手塚 薫教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅣA	須田 一弘教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅣB	須田 一弘教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅣC	須田 一弘教授

●英米文化専攻博士(後期)課程

授業科目

担当教員

欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠA	川上 武志教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠB	川上 武志教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠC	川上 武志教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡA	米坂 スザンヌ教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡB	米坂 スザンヌ教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡC	米坂 スザンヌ教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢA	上野 誠治教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢB	上野 誠治教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢC	上野 誠治教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅣA	安酸 敏真教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅣB	安酸 敏真教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅣC	安酸 敏真教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅣA	柴田 崇教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠA	柴田 崇教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠB	柴田 崇教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠC	柴田 崇教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡA	大森 一輝教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡB	大森 一輝教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡC	大森 一輝教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢA	小松 かおり教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢB	小松 かおり教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢC	小松 かおり教授

● 日本文化専攻修士課程

授業科目	担当教員
日本文学特殊講義 I	井野 葉子教授
日本文学特殊講義演習 I A	井野 葉子教授
日本文学特殊講義演習 I B	井野 葉子教授
日本文学特殊講義 II	田中 綾教授
日本文学特殊講義演習 II A	田中 綾教授
日本文学特殊講義演習 II B	田中 綾教授
日本文学特殊講義 III	中村 三春講師
比較文学特殊講義 I	テングトアイトル教授
比較文学特殊講義演習 I A	テングトアイトル教授
比較文学特殊講義演習 I B	テングトアイトル教授
比較文学特殊講義 II	大谷 通順教授
比較文学特殊講義演習 II A	大谷 通順教授
比較文学特殊講義演習 II B	大谷 通順教授
日本思想特殊講義 I	船岡 誠教授
日本思想特殊講義演習 I A	船岡 誠教授
日本思想特殊講義演習 I B	船岡 誠教授
日本思想特殊講義 II	大石 和久教授
日本思想特殊講義演習 II A	大石 和久教授
日本思想特殊講義演習 II B	大石 和久教授
日本語研究特殊講義 I	中川 かず子教授
日本語研究特殊講義演習 I A	中川 かず子教授

授業科目	担当教員
日本語研究特殊講義演習 I B	中川 かず子教授
日本語研究特殊講義 II	徳永 良次教授
日本語研究特殊講義演習 II A	徳永 良次教授
日本語研究特殊講義演習 II B	徳永 良次教授
日本語研究特殊講義 III	菅 泰雄教授
日本語研究特殊講義演習 III A	菅 泰雄教授
日本語研究特殊講義演習 III B	菅 泰雄教授
日本語特殊講義 I	追塩 千尋教授
日本語特殊講義演習 I A	追塩 千尋教授
日本語特殊講義演習 I B	追塩 千尋教授
日本語特殊講義 II	郡司 淳教授
日本語特殊講義演習 II A	郡司 淳教授
日本語特殊講義演習 II B	郡司 淳教授
環境文化特殊講義 I	手塚 薫教授
環境文化特殊講義演習 J I A	手塚 薫教授
環境文化特殊講義演習 J I B	手塚 薫教授
環境文化特殊講義 J II	須田 一弘教授
環境文化特殊講義演習 J II A	須田 一弘教授
環境文化特殊講義演習 J II B	須田 一弘教授
環境文化特殊講義 J III	中村 英重講師
環境文化特殊講義 J IV	李 俊鎬講師

● 英米文化専攻修士課程

授業科目		担当教員	授業科目		担当教員
英米文学特殊講義 I	川上	武志教授	欧米史特殊講義 II	大森	一輝教授
英米文学特殊講義演習 I A	川上	武志教授	欧米史特殊講義演習 II A	大森	一輝教授
英米文学特殊講義演習 I B	川上	武志教授	欧米史特殊講義演習 II B	大森	一輝教授
英米文学特殊講義 II	本城	誠二教授	欧米史特殊講義 III	仲松	優子准教授
英米文学特殊講義演習 II A	本城	誠二教授	欧米史特殊講義演習 III A	仲松	優子准教授
英米文学特殊講義演習 II B	本城	誠二教授	欧米史特殊講義演習 III B	仲松	優子准教授
英語研究特殊講義 I	上野	誠治教授	欧米史特殊講義 IV	太田	敬子講師
英語研究特殊講義演習 I A	上野	誠治教授	環境文化特殊講義 I	小松	かおり教授
英語研究特殊講義演習 I B	上野	誠治教授	環境文化特殊講義演習 e I A	小松	かおり教授
英語研究特殊講義 II	米坂	スザンヌ教授	環境文化特殊講義演習 e I B	小松	かおり教授
英語研究特殊講義演習 II A	米坂	スザンヌ教授	環境文化特殊講義 II	柴田	崇教授
英語研究特殊講義演習 II B	米坂	スザンヌ教授	環境文化特殊講義演習 e II A	柴田	崇教授
英語研究特殊講義 III	田中	洋也教授	環境文化特殊講義演習 e II B	柴田	崇教授
英語研究特殊講義演習 III A	田中	洋也教授			
英語研究特殊講義演習 III B	田中	洋也教授			
欧米思想特殊講義 I	安酸	敏眞教授			
欧米思想特殊講義演習 I A	安酸	敏眞教授			
欧米思想特殊講義演習 I B	安酸	敏眞教授			
欧米思想特殊講義 II	佐藤	貴史准教授			
欧米思想特殊講義演習 II A	佐藤	貴史准教授			
欧米思想特殊講義演習 II B	佐藤	貴史准教授			

文学研究科教育・研究発表活動

◎二〇一七年度第一回〔全体ゼミ〕（修士課程二年・中間報告）
七月一日（土）（13：00～15：50）、本学AV4番教室にて開催された。修士課程二年に在学する三名と博士課程の二名の院生が次の題目で論文の構想とその内容の一部を発表した（参加者約30人）。

大矢理彩「タイ人日本語習者の学習動機の変化とその要因―質的調査法による分析から―」
佐々木律子「元正天皇治世の意義―女性天皇「中継ぎ論」の克服を目指して―」

小山麗華「ダンテの『神曲』と煉獄の系譜」
森 良太「短期留學生の問題発見・解決と学びの構造の把握―コミュニケーションを媒介とした学習行為の形式化へ向けて―」

岩佐有子「摂関期における僧侶の医療活動」

◎二〇一七年度第二回〔全体ゼミ〕（修士課程一年・中間報告）
十一月四日（土）（10：30～11：30）、本学AV4番教室にて開催された。修士課程一年に在学する二名の院生が次の題目で論文の構想を発表した（参加者約30人）。

竜野征一郎「オノマトペの学習を支援するeラーニング教材の開発と実践」

佐野元紀「平安貴族社会における怪異―鬼の認識を通じて―」

◎北海学園大学人文学会第五回大会

十一月四日（土）（14：00～17：00）、本学D30番教室にて、シンポジウム「松浦武四郎の光と影」を開催し、大学内外から約120人の聴衆が集まった。三浦泰之先生の基調講演のあと、本学の教員も参加して、北海道の「名付け親」松浦武四郎の獨創性について活発に議論した。

○基調講演

三浦泰之（北海道博物館学芸主幹）

「松浦武四郎研究の現状と課題」

「新たななる武四郎像の構築に向けて―」

○コメンテーター

徳永良次（本学人文学部教授）

「北駕文庫の蔵書と歴史」

松本あづさ（藤女子大学准教授）

「幕末期に松浦武四郎が入手・発信した情報について」

霜村紀子（東京国立博物館付主任研究員「国立アイヌ民族博物館設立準備室」）

「絵に見る武四郎の交流」

○司会
手塚 薫（本学人文学部教授）

●『年報 新人文文学』第14号をお届けします。本号には論文四本、書評二本、翻訳一本が掲載され、内容はもちろんのこと、分量でも堂々たる巻となりました。ご投稿くださった皆様、また厳正なる査読にご協力くださいました皆様に心よりお礼申し上げます。

●郡司淳先生の巻頭言は、「AIや経済のグローバリズムへの順応がまことしやかに語られる当世にあつて、「人間にふさわしい生き方」や「人間のあるべき姿」の追求の要を説く点で、「新人文主義」への大いなるエールと読むことができます。家族の再編に「新人文主義」の可能性を見るプラグマティズムは、歴史家の面目躍如と言えるでしょう。家族という社交の場の再生のように、本誌が文字を通じた研究者たちの社交の場であり続けるのにも不断の努力が必要であることを痛感します。

●本誌が社交の場として存続するには、相応の数の、質の高い論文が必要です。継続的に投稿いただいている追塩千尋先生には、編集担当の立場を離れても、頭が下がります。

●森川慎也先生には、着任初年のお忙しい中、研究論文をご投稿いただきました。ノーベル賞受賞者の作品がその年(だけ)のベストセラーになる傾向や、半可通による礼賛記事が紙面を埋める風潮には毎年辟易します。カズオ・イシグロの初期作品とインタビュに焦点を絞り、頻出する用語やモチーフからその文学の特徴を把握しようとする論者は、本邦の文学受容のあり方にも一石を投じるに違いありません。

●竹ヶ原康弘氏にも、第10号以来、ほぼ毎号寄稿いただいています。本号の読者の皆様には、著者としても社交の輪が開かれております。奮ってご投稿ください。

●森良太氏は人文学部非常勤講師を務める傍ら、文学研究科博士(後期)課程2年に在籍し研究を続けています。前号では研究ノートを、今回は研究論文を投稿していただきました。投稿論文は、日本語教育における文化・社会の関与、学習者の自己認識の個別性、多様性の重要性を論じています。その理論的支柱の中心にルーマンの社会システム理論を据えており、日本語教育の分野では新鮮かつ意欲的な論考といえます。

●テレングト・アイトル先生の翻訳は、一昨年にご出版の『詩的狂気の想像力と海の系譜』と呼応するものですが、古典を源とする水脈にわれわれの研究が浮かぶことを実感できる点で、新人文主義の学徒にとって必読の一品です。

●米坂スザンヌ先生には、同僚のジェレミー・ブシャー先生の近著について書評を書いていたいただきました。社交の輪を内
にいる者が外に向かつて開く作業も、本誌の善き伝統の一つと言えましょう。

●仲丸英起先生の書評は、粗削りながら若く活きの良い研究をご紹介くださったものと見受けました。各研究分野の重要
な論文を紹介して行く作業によって本誌が益々認知されることを願ってやみません。

(中川かず子・柴田 崇)

『年報 新人文文学』投稿規定

- 一、『年報 新人文文学』は、人文文学に関する広範な分野の研究成果を掲載し、内外の研究交流を図ることを目的とし、年一回発行を原則とする。
- 二、投稿原稿の著者は、人文学部及び文学研究科の所属者でなければならない。ただし編集委員会が認めた場合はその限りではない。
- 三、原稿は日本語、あるいは英語とし、種類と分量はそれぞれ次のとおりとする。
 - ①原著論文で未発表のもの、日本語なら二〇、〇〇〇字、英語なら一〇、〇〇〇字程度。
 - ②研究ノート・資料・報告など、日本語なら一二、〇〇〇字、英語なら六、〇〇〇字程度。
 - ③書評など、日本語なら四、〇〇〇字、英語なら二、〇〇〇字程度。
 - ④その他、編集委員会が必要と認めたもの。
- 四、原稿は編集委員会で厳正な審査を行い、採否を決定する。編集委員会は査読結果に基づき、原稿の一部変更を求めることがある。

北海学園大学大学院文学研究科
『年報 新人文文学』編集委員会